

相馬市

第66号

令和4年9月15日発行



# 農業委員会だより



食育活動で学ぶ相馬の伝統と文化・・・・・・・・・・2～3

農地パトロール／遊休農地対策事業・・・・・・・・・・4

農業者年金情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

新規就農相談会／園芸ミニ情報　ほか・・・・・・・・・・6

令和4年6月10日に実施された  
土垂の植え付け作業（飯豊小学校）



# 食育活動で学ぶ

## 相馬の伝統と文化



2



3



1

**とだけ  
相馬土垂**  
の植え付けを  
行いました!

飯豊小学校の3年生の児童37名は、6月10日、小学校近くの畑で「相馬土垂（とだけ）」の植え付けを行いました。「相馬土垂」は、サトイモの在来種で、相馬地方で栽培されていた伝統野菜です。

植え付け作業は、「ふくしま食育実践サポートー活動」のサポーターである大野村農園の菊地将兵さんの指導を受けながら行われました。

苗を植えるコツや、水やりの仕方などの説明を受けたあと、苗をひとつひとつ丁寧に植

え付けました。

「早く給食で食べてみたいですね！」

雨上がりの空の下、どろんこになりながら作業した児童たちは収穫を楽しみにしていました。

10月には、子どもたちの背丈ほどにも成長します。立派なサトイモに成長するといいですね。

今回指導してくれた菊地さんにお話を伺いました。

「相馬市の伝統野菜である相馬土垂の植え付けを行うことで、ふるさと相馬の伝統や文化に興味を持って、いつまでもこの相馬を好きでいてほしい。そして、この体験からさらに一歩踏み込んで、この町の農業について考えてもらいたい。」

と語ってくれました。今後さまざまな活動を通して、農業の楽しさを子供たちに伝えていってほしいと思います。

### 子どもたちの声

- ◆早く給食で食べてみたい!
- ◆収穫するのが楽しみ!
- ◆『相馬』という名前のつく野菜があることを知らなかった。 など



土垂イメージ





6



5



4



8



7

- [1][2][4][5] 苗を植える児童達  
 [3] 土垂の苗  
 [6][8] 植え付けの説明をする  
 菊地さん  
 [7] 説明を受ける児童達



### 土垂を使ったレシピ紹介コーナー

土垂は、細長くて粘りが強いのが特徴です。

収穫の時期になると、栽培した学校の給食のメニューとして登場します。

主なメニューは、

- 土垂のチーズ焼き      ●とん汁
- ジャーマン土垂      ●煮物

などです。

子ども達が喜びそうなメニューばかりですが、その中から今回は「土垂のチーズ焼き」のレシピをご紹介します。

### ～レシピ紹介～

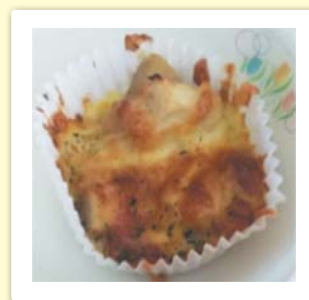
## 土垂のチーズ焼き

#### 【分量（4人分）】

- 土垂 …… 6個
- 塩・こしょう …… 少々
- ベーコン …… 2枚
- チーズ …… 大さじ3
- 玉ねぎ …… 1/2個
- アルミカップ …… 4枚

#### 【作り方】

1. ベーコンは短冊切り、玉ねぎは薄切りにする。
2. 土垂は茹でて、さいの目切りにする。
3. フライパンに油（分量外）を熱し、ベーコン、玉ねぎを炒め、土垂を加え、塩・こしょうで味付けする。
4. 3をカップに入れ、チーズをのせてトースターで焦げ目がつくまで焼く。



【栄養価】・エネルギー …… 106kcal    ・脂質 …… 4.8g  
                   ・タンパク質 …… 4.5g      ・食塩相当量 …… 0.7g

「相馬市学校給食おすすめレシピ集」より

# 農地パトロールを実施しました



市農業委員会では、7月下旬から8月にかけて農地パトロール（農地利用状況調査）を実施しました。農地パトロールとは、毎年1回、農業委員と農地利用推進委員が連携して農地を見廻り、遊休農地が発生していないか、適正に管理されているかを調査するものです。

周辺農地の環境に悪影響を及ぼす可能性があります。農地パトロールの調査後の取り組みとして、遊休農地の所有者・耕作者に対して「利用意向調査」を実施し、遊休農地の解消に向けた指導や助言を行い、遊休農地の解消に繋がります。

なお、農地に関するご相談（転用・売買・贈与・貸し借りなど）は、市農業委員会ですぐ受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

農地の管理を怠ってしまうと、雑草・雑木の繁茂や病害虫の発生、イノシシなどの有害鳥獣のすみかになるなど、

なお、農地に関するご相談（転用・売買・贈与・貸し借りなど）は、市農業委員会ですぐ受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。



写真：農地パトロールの様子

こんな活動をしています！

## 【主な活動内容】

- ① 遊休農地等の把握（現況・発生場所の確認）
- ② 農地法許可農地の履行状況の確認
- ③ 農業経営基盤強化促進法等による利用権設定等農地の利用状況確認
- ④ 農地の違反転用の発生防止と早期発見・是正



活動の様子



過去の対策事業より

## 遊休農地対策事業

ヒマワリとサルビアを植えました

令和4年7月21日、農業委員・農地利用最適化推進委員は、坪田地内の遊休農地を耕起し、ヒマワリの種とサルビアの苗を植えました。夏を代表する花でもあるヒマワリやサルビアは、景観作物として私たちの目を楽しませてくれます。さらにヒマワリには土壌を改良する効果があります。土壌が改良されることで、次の耕作者が見つかりやすいという利点があり、遊休農地の解消に繋がっていきます。

なお、この事業は、市農業委員会が一丸となって遊休農地解消活動に取り組み、市民の皆様にも広くお伝えすることで、遊休農地の問題に関心をもってもらうことを目的としています。

## 新規就農のご相談は、そうま地区新規就農支援チームへ

そうま地区新規就農支援チームでは、『農業を始めたい』あなたを全力でサポートし、新規就農へ向けて一緒に考え、応援します。ぜひ一度ご相談ください。



### ◆相双農林事務所 農業振興普及部 ☎ 0244-26-1150

農業についての技術や経営に関する知識の習得支援、農業用機械の取得や生活支援に係る補助制度について

### ◆相馬市農業委員会 ☎ 0244-37-2190

農地の賃借、売買について

### ◆相馬市農林水産課 ☎ 0244-37-2147

青年等就農計画及び農業経営改善計画について

### ◆JAふくしま地区本部農業振興課 ☎ 0244-67-2702

種苗購入費補助、主食用米促進支援、農業法人設立支援、ハウス等資材費補助等について



の

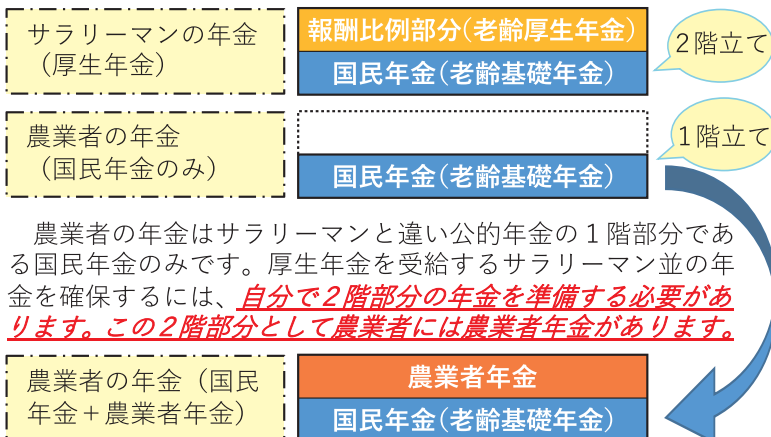
う

ね

## 農業者年金が

さらに加入しやすくなりました！

## 農業者年金ってなに？



## 加入要件は？

国民年金第1号  
被保険者※国民年金保険料  
納付免除者を除く年間60日以上  
農業に従事20歳以上  
65歳未満※60歳以上65歳未満  
は国民年金任意加入者の方で、要件を満たす方なら  
どなたでも加入できます。

## 加入しやすくなった3つのポイント

## ポイント1 令和4年1月から

若い農業者が加入しやすいように保険料が引き下げられました  
(35歳未満で一定の要件を満たす方は、月額1万円から加入できます)

## ポイント2 令和4年4月から

農業者年金の受給開始時期の選択肢が広がりました

農業者老齢年金：65歳以上75歳未満

特例付加年金：65歳以上(受給開始年齢の上限はありません)



## ポイント3 令和4年5月から

農業者年金の加入年齢が引き上げられました

(国民年金の任意加入など、一定の要件を満たせば60歳以上65歳未満の方も加入できます)

## 年金額シミュレーションができます

パソコンやスマートフォンを使って、農業者年金基金のホームページから農業者年金の試算ができます。

- ①『農業者年金』『シミュレーション』で検索
- ②生年月日や月額の保険料などを入力
- ③「シミュレーション」ボタンを押す

※保険料や納付期間を変えて、さまざまな試算ができます。

※農業者年金の詳しい内容や加入のお申し込みは、農業委員会事務局か最寄りのJA  
または農業者年金基金にお問い合わせください。



来場者からの相談を受ける武島農業委員（右）

## 新規就農相談会

～ 相馬市での  
新規就農をPR ～

去る 6 月 19 日（日）、仙台市青葉区において開催された農林水産 F E S T（新規就農相談会）に、当農業委員会から武島竜太委員が参加し、新規就農を希望する来場者からの相談に当たりました。

今回の相談会は、農業への新規参入の促進や、農業従事者の確保が主な目的で、秋田、山形、宮城、福島各県から計 14 団体が出展し、各団体が地域の特色を活かした農業を

PR しました。

相馬市のブースには、6 名の方が相談に訪れ、相馬市の農業の特色や、主な栽培作物、研修先や就農に当たつての支援制度等についての説明を熱心に聞いていました。

来場者からは、地域の農業者でもある農業委員から直接経験談等を聞くことができ、大変参考になった、との声が聞かれました。

なお、新規参入のご相談は随時受け付けておりますので、相馬市農業委員会へお気軽にご相談ください。

## 農業委員会からのお知らせ

農業委員会総会日程・申請書の締切日

総会日程	申請書締切
11月11日	10月18日
12月12日	11月18日
1月13日	12月16日
2月10日	1月17日

日程は変更になる場合がありますので、ホームページ等であわせて確認下さい。

## 園芸ミニ情報

40～50 日で収穫できます！

このコーナーでは、これからの季節に適した家庭菜園などの情報をお伝えします。野菜を育てることで、農業の楽しさを感じてみませんか？ 今回は、小松菜についてのミニ情報です。小松菜は、虫がつきにくい秋にまくのがおすすめです！

### 【種まき】

- ①プランターに、鉢底石を底が見えなくなるまで入ます。
- ②野菜用培養土を縁から 5 cm くらい高さを残して入れます。
- ③深さ 1 cm 程度の溝を 15 cm 間隔で 2 列作りましょう。
- ④溝に約 1 cm 間隔で種をまきます。
- ⑤指でつまむようにして土をかぶせ手で軽く押さえます。
- ⑥プランターの底から水が流れ出るまで水をやります。

※発芽するまで土の表面が乾く前に水をやるようにしましょう。

### 【間引き】

双葉が開いたら 3 cm 間隔になるように育ちが悪い芽を抜いていきます。間引き後、手で根元に土をかぶせます。（土寄せ）  
※虫がつくようなときは、防虫ネットをかぶせましょう。

### 【追肥】

間引きを行ってから 1 週間後に追肥を行います。化成肥料 10 g をプランター全体にまきましょ。追肥後は土寄せをします。

### 【水やり】

表面が乾いたら、水をたっぷり与えます。葉の色が薄くなってきたときは、市販の液肥をまぜて水やりをしましょう。

### 【収穫】

草丈が 20～25 cm になったものから順次収穫していきましょう。

※2週間おきに同じ行程を行うと長く楽しめます！



## 編集後記

農業委員会だよりをご覧いただきまして、ありがとうございます。  
新型コロナウイルス感染症の拡大やウクライナ侵攻などによる物価上昇は、我々の日々の生活に大きな影響を及ぼしています。  
一日も早く安定した生活が戻ってくることを願っています。

さて、私は農業委員会だより編集に関わってまだ二度目です。今後もお伝えしたい情報、お知らせなどを編集委員としてお届けできるよう頑張ります。

終わりに、農業委員会だより発行にご協力いただいた方々に感謝を申し上げ、編集後記といたします。（坂本）



編集委員長  
委員 坂本 義昭  
委員 三國 雄司  
委員 実加



月 4 回  
金曜日発行  
月額 700 円

農家の思いを伝え農業・農村の「未来」をともに考えます。

全国農業新聞は農業委員会ネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。お申込は農業委員会までどうぞ。

### ■編集・発行

相馬市農業委員会  
相馬市中村字北町 63-3  
☎ 0244-37-2190

